

拓人こうべ主催 生活の場サポートセンターひょうご共催  
 姫路作業所連絡会 / はりま福祉ネットワーク  
 NPO法人明石障がい者地域生活ケアネットワーク(135Eネット)協賛

## 小規模作業所の政策展望研究とレベルアップ学習集会

播磨地域

障害者自立支援法が2006年10月より本格実施され、全国の自治体の多くが小規模作業所の「補助制度の廃止と自立支援法に基づく法内移行」の方針を示しました。

自治体の多くは「地域活動支援センター」や「就労継続B型」への移行を求め、小規模作業所への働きかけを行っています。しかし「利用者枠・利用者負担」そして姫路市だけが、地域活動支援センターⅢ型の給付形態を「日割り計算」し、移行への不安はぬぐいされません。

兵庫県では「平成24年度まで現行の補助制度を存続させる」と発表がありました。しかし平成25年度以降、小規模作業所への補助はありません。そのようなことになれば、立ち行かなくなる小規模作業所が出る恐れがあります。そうすると障害者の行き場がなくなり地域で生きてきた「生きる場」を奪われる事になります。このような情勢の中であるからこそ、小規模作業所の将来を考える場をもつ必要があると考えています。

小規模作業所の存在意義はたくさんの方に認めていただいています。県内の小規模作業所関係者が手を取り合っでの取り組みが求められています。いえ、これからは障害福祉関係者だけでは福祉の将来はありません。より大きなネットワークで小規模作業所、障害福祉の将来を考えていく必要があります。

対象は関心のある方、どなたでも結構ですが定員が150名となっておりますので、お早めにお申し込み、お願いいたします。

### ☆会場図(姫路市自治福祉会館)

※駐車場はございますが、できるだけ乗り合わせ、公共交通機関でご来場ください

